

3 かねやま絆の森

13年間 全24回の参加人数
延べ **1,015**名

所在地 金山町大字朴山地内 面積：4.38ha

協定期間 第1期：平成22年4月1日からスタートし、現在5期目
第5期：令和5年4月1日～令和8年3月31日

協定者 富士フィルムB I 山形㈱、(有)三英クラフト、金山町、山形県

活動内容 当社は CSR 活動の一環として、2010 年度より協定を締結して 13 年間、協定4者に参加企業を交え、多くのステークホルダーと関わりながらパートナーシップを大切に活動しています。近年は企業と地域が描く「次世代の森づくり」の可能性にチャレンジしています。第5期は、カーボンニュートラルの視点から企業と地域が取り組む CO₂ 森林吸収量に貢献できる活動モデルとして「やまがた絆の森」と、人的資源の視点から森との関わりを通じて豊かな人間性を育む「やまがた木育」の普及活動に取り組みます。

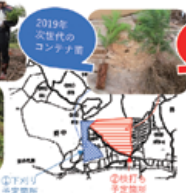
わたしちは協定エリア内で 2タイプの杉苗を保育しています

活動① 4年生コンテナ苗の下刈り

ほんの裏でコンテナをあげてコンテナ棚を並べた。コンテナは重さは持ち運びも楽です。



3年後



①下刈り
予定箇所

②株打ち
予定箇所



2019年
次世代の
コンテナ苗



2010年に
植えた
従来の杉苗

苗を植えるための50cmの穴を何箇所も掘って置きました。従来の苗は1本植えるのに時間と労力。そして技術が必要でした。

活動② 14年生苗の株打ちとツル切り



13年後

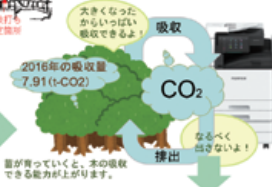
木は、私たちが排出した CO₂ を吸収して、空気をつくってくれます。私たちは省エネ性能でなるべく CO₂ を出さない努力を続けます。



植樹したばかりの頃は、まだ赤ちゃん苗でした。

2010年の吸収量
1.87(t-CO₂)

小さいから吸収量もちよびり



苗が育っていくと、木の吸収できる能力が上がります。

省エネ性能 UP!

省エネ機械になるほど、CO₂ 自体を出さないからその分、貢献できる台数が増えます。



2010年度～2021年度の12年間で 富士フィルムB I 山形の森づくりは

約 **10,936** 台の複合機が1年間に排出す
二酸化炭素を吸収する活動になりました



＜富士フィルムビジネスイノベーション カラー複合機 Apeos C2570 PF5の
TEC値：0.25 KWhを削減名目換算し「1KWhあたりCO₂ 0.521kg」で換算し算出＞

（富士ゼロックス）